

**製品名: NXF3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14995**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NXF3
別名	NXF3; TAPL3; Nuclear RNA export factor 3; TAP-like protein 3; TAPL-3
遺伝子 ID	56000.0
SwissProt ID	Q9H4D5
免疫原	抗血清はヒト NXF3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 72-121

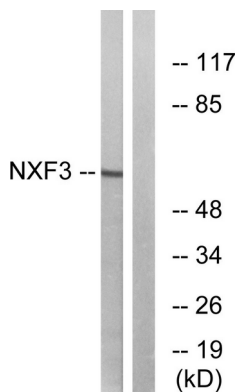
**背景**

この遺伝子は、核 RNA 輸出国子遺伝子ファミリーの一員です。このファミリーに共通するドメイン特性は、非典型的な RNP 型 RNA 結合ドメイン (RBD)、4つのロイシンリッチリピート (LRR)、核輸出国子 2 (NTF2) 関連輸出国タンパク質 1 (NXT1) とのヘテロ

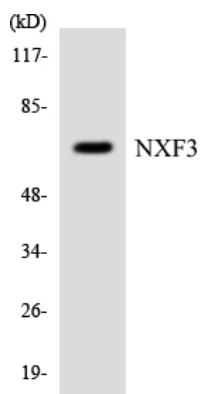
二量体形成を可能にする NTF2 様ドメイン、および核膜タンパク質との相互作用を媒介するユビキチン関連ドメインです。LRR と NTF2 様ドメインは、輸出活性に必須です。この遺伝子ファミリーでは、選択的スプライシングが共通のメカニズムと考えられます。この遺伝子がコードするタンパク質は、短縮された LRR およびユビキチン関連ドメインを有し、RDB は RNA に結合できません。この遺伝子は核質に局在しますが、核膜にも核小体にも関連していません。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],ドメイン:核膜孔標的化ドメインの喪失をシスで補う、新規 CRM1 依存性核外輸送シグナルを含む。、ドメイン:核膜孔との直接相互作用を媒介する C 末端ドメインを欠く。、機能:組織特異的な核 mRNA 輸送因子として機能する可能性がある。、その他:RNA 結合ドメインは非標準的な RNP 型ドメインである。、類似性:NXF ファミリーに属する。、類似性:1 つの LRR (ロイシンリッチ) リピートを含む。、類似性:1 つの NTF2 ドメインを含む。、類似性:1 つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。、細胞内局在:核と細胞質の間を往復する。、サブユニット:NXT1、NXT2、E1B-AP5、および CRM1 核外輸送と相互作用する因子。組織特異性:精巣では高レベルで発現し、少数の組織では低レベルで発現する。

## 研究分野

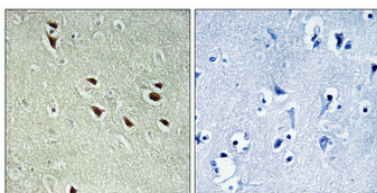
## 画像データ



NXF3 抗体を用いた MCF-7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NXF3 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。

